

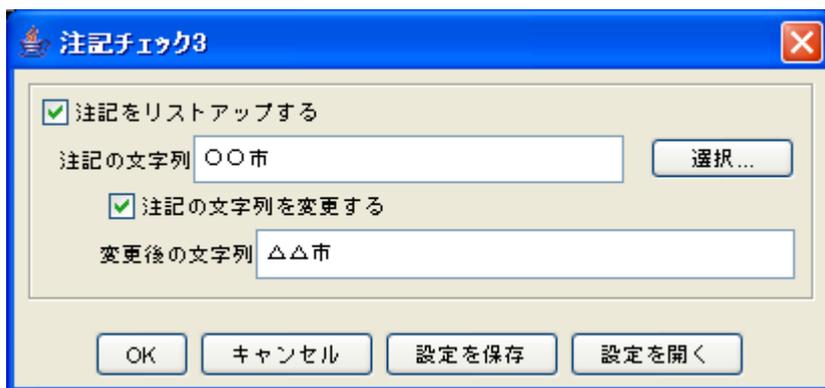
拡張 DM エディタ バージョン 6.0.63 更新記録

2012/04/11
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 注記チェック 3

メニュー[チェック]-[注記チェック 3]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

注記の文字列を指定し、リストアップします。また、指定した文字列をまとめて変更できます。開いている DM データファイルが対象です。



注記をリストアップする

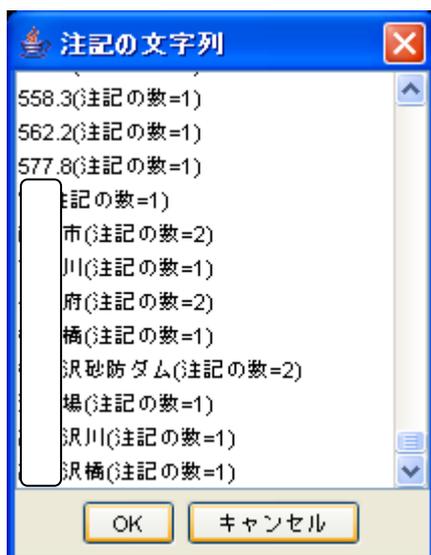
常に ON にしてください。

注記の文字列

検査する注記の文字列です。

選択

開いている DM の注記にの文字列をリストで表示します。選択された文字列を「注記の文字列」にセットします。

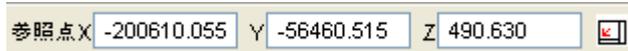


注記の文字列を変更する

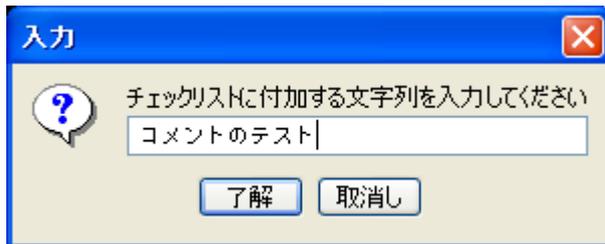
開いている DM について「注記も文字列」の文字列を「変更後の文字列」の文字列に変更します。

2. 参照点の座標をチェックリストに追加

ツールバーにボタン「参照点をチェックリストに追加」を追加しました。



このボタンを押すと、コメントを入力するダイアログを表示します。



了解で「チェックリスト」にコメントと参照点の座標を記録します。



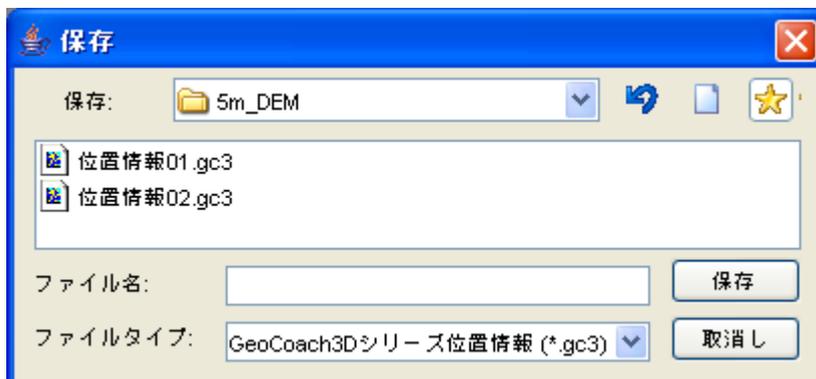
メニュー[ファイル]-[チェックリスト保存]のサブメニューで座標が各形式で保存できます。メニュー[ファイル]-[チェックリスト保存]の[チェックリスト保存(CSV)]で CSV 形式で保存し、[チェックリスト参照(CSV)]でチェックリストに再現できます。

3. 視線の情報保存と再現

メニュー[表示]-[視線情報保存]と[視線情報開く]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

視線情報保存

3D パネルで参照点とそれを見ている方向、ズームの値などをファイル.gc3 に記録します。gc3 はオリジナルフォーマットです。ひとつの視線の情報をひとつのファイルに保存します。



視線情報開く

保存した gc3 ファイルを開いて、3D パネルで参照点とそれを見ていた方向、ズームの値などを再現します。

4. DMリード時のチェック

DM データファイルをリードする際に、もし、図形区分が 0 から 99 の範囲外の場合、レポートパネルに表示するよう
にしました。

左下図郭座標(端数を含む): X=-201000.0m Y=-58000.0m
右上図郭座標(端数を含む): X=-199500.0m Y=-56000.0m
test1.dwg 図形区分の値が「-1」で0から99の範囲外です
要素の個数

ガイド	レポート	チェックリスト1	チェックリスト2
-----	------	----------	----------